

PLUS CYCLE ケースレポート

～ アトピー性皮膚炎の1例 ～

アトピー性皮膚炎の症例において、痒みの客観的指標として PLUS CYCLE®を用いた1例をご紹介します。

■要旨

アトピー性皮膚炎の患者に PLUS CYCLE を装着し、洗浄（シャンプー）前後の活動量を測定／比較した。PLUS CYCLE を Supportive Data として利用することにより、痒みによる夜間の活動量増加・睡眠時間の減少が、シャンプー実施により改善していることが認められた。

■症例

品種	性別	年齢	診断	処置	データ期間
チワワ	メス	6歳3カ月	アトピー性皮膚炎	洗浄	4日

既往症・その他症状： 特になし

■処置

- 2月23日： 洗浄
- 3月7日： 洗浄
- ※その他、加療なし。

■PLUS CYCLE の利用

洗浄を実施する前後日に PLUS CYCLE を首輪に装着しデータ取得を実施し、夜間の活動量・睡眠／休息時間を比較した。

■結果

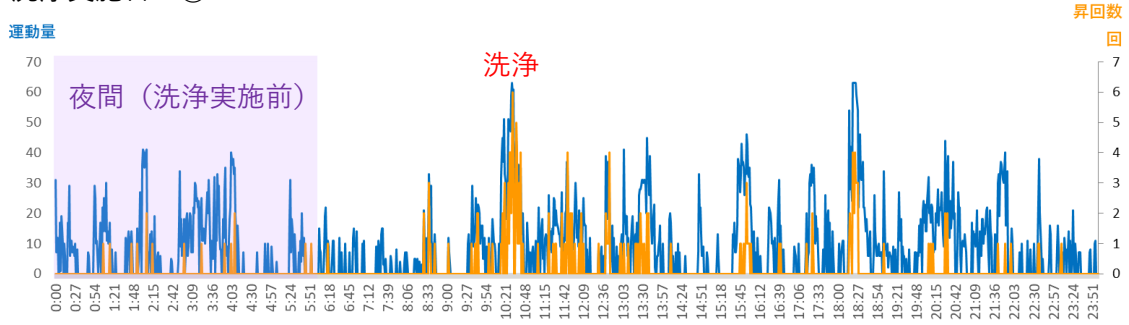
PLUS CYCLE のデータより、患者状態について以下の様なイメージができた。

洗浄前後の日について1日の活動量を比較した結果、洗浄の実施により夜間の活動量が減

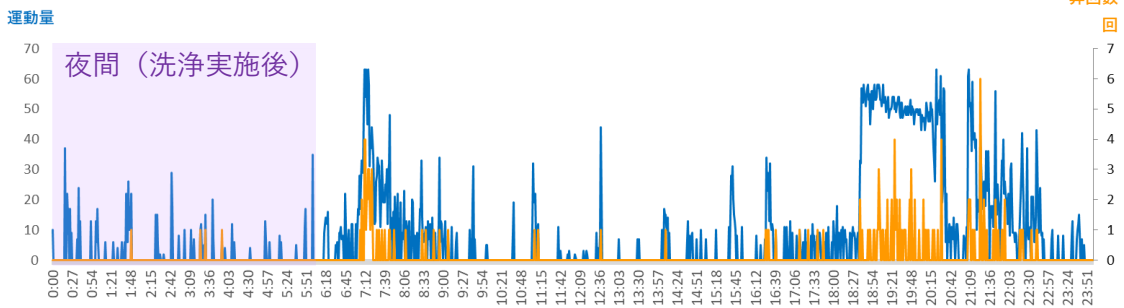
少することが認められ、痒み行動が洗浄前に比較し、軽減されている可能性が示唆された。

【測定日①】

洗浄実施日－①

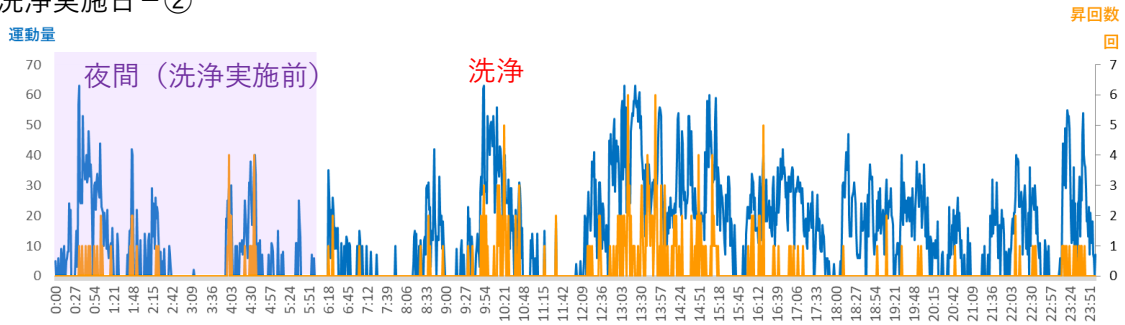


洗浄翌日－①

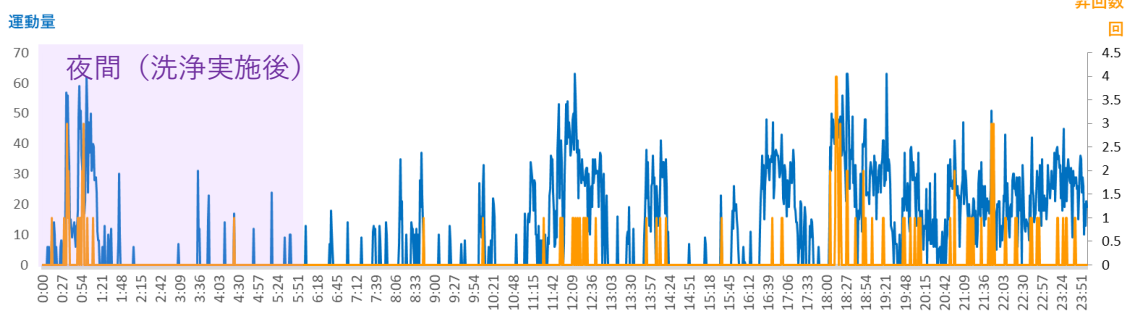


【測定日②】

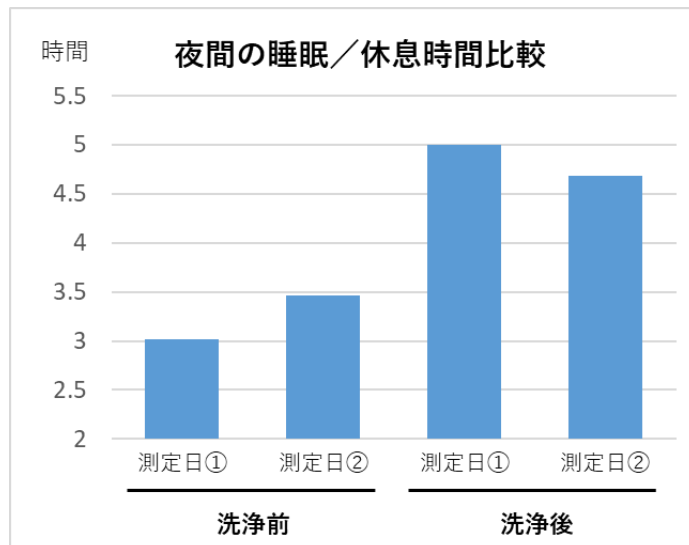
洗浄実施日－②



洗浄翌日－②



さらに夜間の睡眠／休息时间（活動量が0の時間）について比較した結果、洗浄翌日は顕著に睡眠時間が増加していることが確認できた。



上記の通り、洗浄前後で夜間の活動量が顕著に減少し、睡眠／休息时间が増加することが明らかとなった。これらは、洗浄の実施により痒みが抑えられ、掻き動作の抑制および質の良い睡眠が採れていることがイメージできた。

■担当獣医師のコメント

Vet Craft 代表 江角真梨子

日本獣医皮膚科学会認定医、日本コスメティック協会認定指導員

<コメント>

犬アトピー性皮膚炎においては、薬物療法以外にも自宅での環境管理やスキンケアなどが必要であり、それらの日常的なケアの評価は診察室だけでは評価することが困難である。本症例においては、夜間に痒み動作が見られた翌日に、洗浄することによって、当日以降の痒み動作の軽減を客観的に評価することができた。この結果は、洗浄によって痒み行動が減ることが示されており、日常的なケアを飼い主に促すことができる裏付けになると考える。また、問診だけでは把握しにくいご自宅での犬の行動を PLUS CYCLE と照らし合わせ、飼い主と確認することで評価の相違を減らすことができるのではないだろうか。

今後、アトピー性皮膚炎の犬に対しての治療や痒みの評価を獣医師が客観的に効果判定できるツールとして期待したい。

■まとめ

今回、アトピー性皮膚炎患者への洗浄実施前後の PLUS CYCLE データについて、以下の特徴が認められた。

- ✓ 洗浄後は夜間活動量の減少が認められ、痒みが抑えられたことにより掻き動作が軽減されたことがイメージできた
- ✓ 同様に、洗浄後では夜間の睡眠／休息时间（活動量が0で、寝返りなどもしない時間）が増加しており、睡眠の質が向上していることが想定される

■PLUS CYCLE スタッフより一言

アトピー性皮膚炎の患者に洗浄を実施することによる痒みの抑制効果が、夜間の活動量の低下や、睡眠／休息时间の増加という客観的データとして確認でき、痒みについても臨床的指標の Supportive Data として利用できる得る可能性が示唆されました。本ケースでも認められた夜間の睡眠／休息时间の変化は、「痒み」だけでなく「疼痛」についても同様に指標とされていますので、様々な臨床のシーンにおいて夜間の活動量／睡眠時間をご参考にして頂ければと思います。

以上